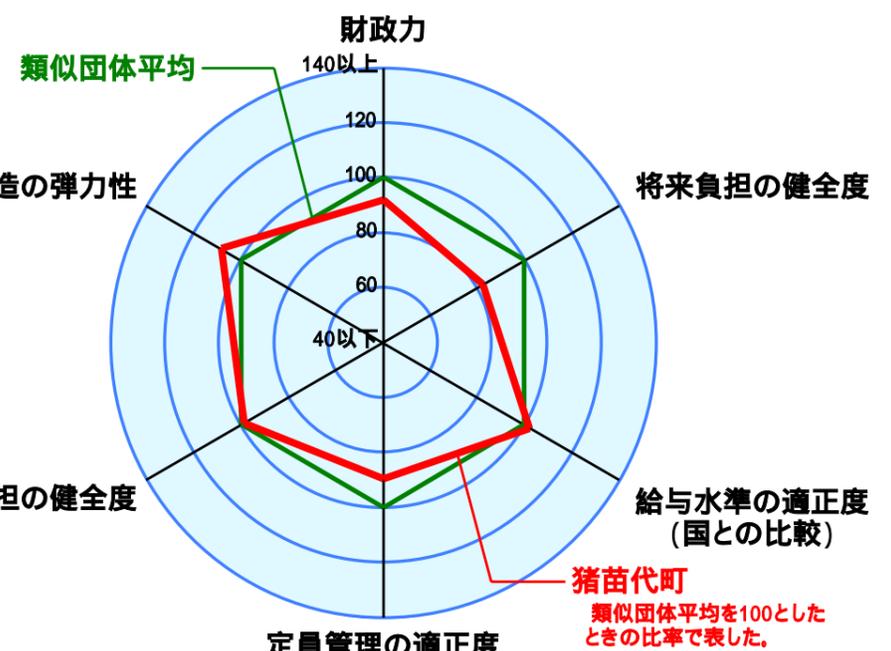
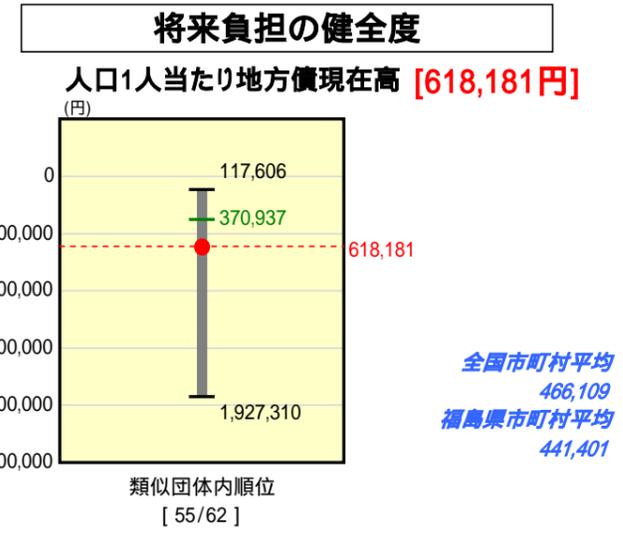
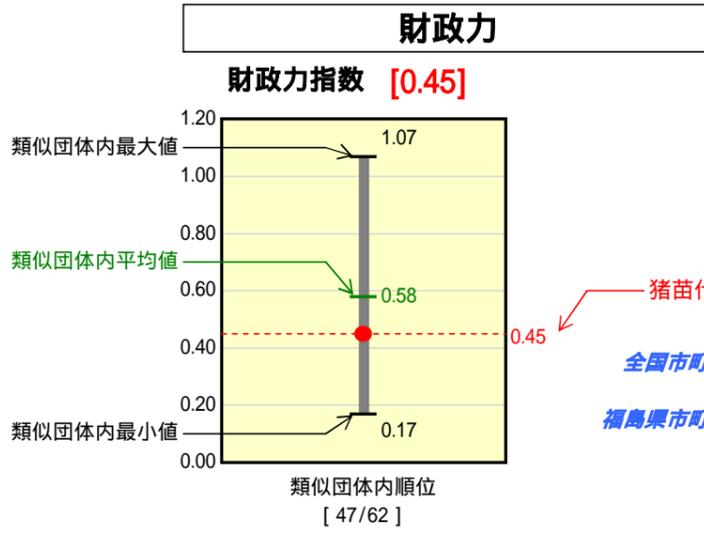


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

福島県 猪苗代町

人口	17,531人(H17.3.31現在)
面積	395.00 km ²
歳入総額	7,411,466千円
歳出総額	7,246,743千円
実質収支	164,723千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

財政力指数：景気低迷による税収の減や財政基盤の弱さなどから、0.45と類似団体平均を下回っている。今後は総務省通知による定員適正化計画に基づく退職者不補充(5年間で4.9%減)や経常経費の削減(5年間で7.6%減)、投資的経費においても重点事業の厳選と実施時期・凍結等の適正な判断の実施などによる経常経費充当一般財源の削減(平成20年度までに7%)を実施するとともに、税の徴収強化、受益者負担の見直し、町有財産の売払といった歳入確保(今後5年間で合計1億1千万円)にもつとめる。

人口1人当たり地方債現在高：類似団体平均を1.67倍上回っている。主な要因は過疎対策事業、公園整備事業、公営住宅建設事業、学校建設事業などである。今後、新規地方債の発行抑制等により新規発行額が元金償還額を上回らないようにし、類似団体平均の水準となるよう努める。

経常収支比率：類似団体平均に比べ5.2%下回ってはいるが、税収の落ち込みと地方財政計画の見直しによる地方交付税の減少により一般財源が減少する中において、事業の抑制から臨時的経費が減少する一方、公債費(平成11年度比6.8%増)や扶助費(平成12年度比46.4%増)において年々増加傾向にあるため、今後も比率は悪化していくと考えられる。

起債制限比率：平成9年度から実施している亀ヶ城総合公園整備事業等の普通建設事業費に係る起債の償還等に伴い、類似団体平均を0.3%上回っている。今後、大規模事業の抑制などにより、類似団体平均の水準となるよう努める。

ラスパイレス指数：類似団体平均を0.8下回っているが(定昇率および特別昇給の相違によるもの)、今後も、各種手当の見直しなどによる一層の給与の適正化につとめる。

人口1,000人当たり職員数：類似団体を1.95人上回っているが、平成17年度を初年度とし、平成22年度までの5年間で、総務省通知による定員適正化計画に基づく退職者の不補充、事務事業の見直し、民間委託の推進による減員、行政組織機構改革などにより4.9%(10人)の削減を目標としている。

